ラブリー・スマイル

Merry in Sapporo プロジェクトタイアップ

MerryinSapporoもあすの「四番街500人大ごみ拾いイベント」で終了。プロジェクトを側面から応援してきたこのコーナーも今回で最後です。印象に残る笑顔には出会えたでしょうか。形を変えたとしても、「札幌や北海道を元気にしよう」という、メリーの遺伝子が根付いてくれることを期待したいですね。

20歳になります

世界中の人に会って話してみたい★

玉田海緒さん（19）は、東京の水谷事務所の一員として札幌のメリープロジェクトを支えた。地元でのメリーに「カッコ悪いことはできない」と静かに気合いを入れたという。北広島市出身で慶應義塾大学総合政策学部２年に在籍。「たくさんの言語を身に付けて、世界の人々と偏見とか抜きに話をしたい」。６月18日は20歳の誕生日。ＮＹで迎える計画を練っている。

キュートなマーメード

小牧奈美ちゃん（6つ）は「にんぎょになったら海で泳げるし、お魚とお友だちになれるから」と、将来の夢を書いてくれた。幼稚園の年長組で、お友だちにいすとりゲームや公園に出かけて遊んだりしている。3人姉妹の2女は「活発でしっかりもの」とお母さん。好きなものは「いちご、お母さんが作ったスパゲッティーとかラーメン、お父さんの肩車」だそう。来年からの小学校生活を楽しみにしている。

…オタク!?

"本物だ"と思えるものに出会えたとき。尊い。

「色々と勉強になりました」。この春大学を卒業した**賀集いりえ**さん（23）は、メリーのスタッフとして忙しい日々を過ごす元気な女の子だ。そんな賀集さんの意外な面を発見。「これを言うとオタクっぽいって思われそうなんですけど…」と前置きして教えてくれた趣味は、ガンダムのビデオを観たり、三国志を読むことだとか。大丈夫、全然オタクじゃ…ないですよ！

※このコーナーでは、イベントの仕掛け人である水谷孝次さんが撮影した写真と、イベントに協力してくれた方のメッセージを毎週紹介します。

今週のメリーなひと

3度の飯より絵を描きたい

幸せ→星がきれいなこと

「3度のごはんより絵を描くのが好き」と公言する**松浦寿子**さん（20）。小さいころから気の向くまま、自分の世界を描きためてきた。いまは初めて公募展に出品しようと、絵の具を使った作品を制作中だ。黒澤明の映画などを見て、想像力を膨らませている。学校は北海道ドレメ―カー学院の総合企画課2年生で、企画から縫製まで服づくりをトータルに勉強している。「将来は服か絵かで、悩んでいます」。

宝物だよ、札幌は

2/世代の街づくり

「四季がはっきりしていて緑が美しい札幌のまちが大好きなんだ」。株式会社パルコ店次長の**荒井初夫**さん（52）は、関東に住んでいたころから北海道への憧れを持ち、何度も足を運んでいたという。その想いが届いてか、今年3月に転勤となって念願の札幌在住。「札幌の市民は、この街が宝物だということに気づいていない。世界に誇る国際都市になるために、もっともっとアピールしないと。札幌を語らせたら四番街一ですね。

涙ホロリの2カ月間。30日はいよいよごみ拾い本番です

PJスタッフから

こんなに大きなメリーな笑顔の下で、オリジナルTシャツを着て、ゴミ拾いをします。考えただけでもワクワクしちゃいますよね

30日はいよいよ第3回ゴミ拾いプロジェクトです。ということは、今回が連載最終回ということです。4月から始まって早2カ月！。いろいろなことがありました。長いと思いきや、終わってみれば本当にあっという間でした。ゴミ拾いの準備に追われて徹夜したり、柴山さん（この連載担当の記者さん）から、原稿や写真の催促のメールがたくさん届いたり。日夜を問わず携帯が鳴り響く日々もあと1日で終わりかと思うと、涙がホロリです。

30日のゴミ拾いには、およそ500人が参加を予定しています。おそろいのTシャツを着た若者が、Merryな装飾に飾られた笑顔いっぱいの四番街のゴミを拾います。

参加人数にまだ若干余裕がありますので、今からでも滑り込みで間に合います！　29日いっぱいは参加申し込みが可能です。迷っている方はぜひご参加ください。ゴミ拾いは一見地味ですが、やってみると夢中になりますよ。見ているだけじゃ満足できないことと確実です！

それでは30日、会場でお会いしましょう。2カ月間お付き合いいただきましてありがとうございました。

（プロジェクトスタッフ・賀集いりえ）

「Merry in Sapporo」プロジェクトとは

「まちを笑顔で埋め尽くそう！」を合い言葉に、アートディレクターの水谷孝次さんによるイベントが「Merry in Sapporo」。ちょっと元気のない札幌や北海道をMerry（幸せ）で包みます。

札幌の人々の笑顔の写真を札幌四番街商店街のいたるところに張り出したり、商店街の店員がメリーのバッジを付けて接客したり、みなさんの写真とメッセージを集めたフリーペーパーを発行したりします。

「Merryはあなたの足下から」―5月30日の「ゴミ・ゼロの日」には、全道で5万人が参加したごみ拾いイベントでフィナーレを迎えます。

詳しくはホームページwww.21merry.netをご覧ください。